

等式による表現

NO.1

名前

/10 点

1 次の にあてはまる言葉を入れなさい。

$4x = 5y + 7$ のように等号 $=$ を使って、数量の関係を表した式を という。等号の左側の式を 、右側の式を 、その両方をあわせて という。

2 次の数量の関係を等式で表しなさい。

① 1本 a 円の鉛筆 8 本と1冊 b 円のノート 5 冊の代金を合わせると 850 円になる。

② 1本 120 円のジュースを x 本買い 2000 円出した時のおつりは y 円になる。

③ 1 kg a 円のお米を 5 kg 買った時の代金は b 円である。

④ 底辺が a cm、高さが b cmの三角形の面積は 36 cm^2 である。

⑤ 分速 x mの速さで 8 分進んだときの道のりは y mである。

⑥ x を 6 で割ると商が a で余りが b になる。

解答

1

$4x = 5y + 7$ のように等号 $=$ を使って、数量の関係を表した式を **等式** という。等号の左側の式を **左辺**、右側の式を **右辺**、その両方をあわせて **両辺** という。

2

① $8a + 5b = 850$

② $y = 2000 - 120x$

③ $b = 5a$

④ $\frac{a+b}{2} = 36$ より $a+b = 72$

⑤ $y = 8x$

⑥ $x = 6a + b$